

科目	化学基礎	単位数	2単位	学年	第1学年	講座	
教科書	化学基礎（実教出版）		副教材等	カラーノート新課程版（実教出版）			

学習目標	1 化学基礎の学習を通して、身近な自然現象や科学に興味・関心を抱き、疑問や課題を自ら解消するために、自発的に考え、調べる態度を養う。 2 化学で学んだ知識や考え方を活用し、周囲とより充実した関わりができるようになる。
------	---

評価の観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

時期	学習計画及び内容		評価方法
1 学 期	4月	第1章 物質の構成 1節 物質の探究	定期考査 グループワーク ワークの提出 ノートの提出 授業態度
	5月	・物質の分類と性質	
	6月	・物質の三態と熱運動 2節 物質の構成粒子 ・原子の構造 ・元素の周期表	
	7月	第2章 物質と化学結合 1節 イオン結合 ・イオン結合からなる物質	
2 学 期	8月	2節 共有結合と分子間力	定期考査 グループワーク ワークの提出 ノートの提出 授業態度
	9月	・共有結合からなる物質	
	10月	3節 金属結合 ・金属結合と金属結晶	
	11月	4節 化学結合と物質 ・結晶の分類	
	12月	第3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式 ・原子量と分子量・式量 ・溶液の濃度 ・化学反応式	
3 学 期	1月	2節 酸と塩基 ・酸と塩基の分類	定期考査 グループワーク ワークの提出 ノートの提出 授業態度
	2月	・中和反応と塩	
	3月	3節 酸化還元反応 ・酸化と還元 ・酸化還元反応の応用	

学習方法 周期表やイオン結合など化学の基本的事項はプリントを中心にドリル学習し、定期考査でも毎回出題しながら定着を図る。授業は、基本的に書き込み式の副教材（カラーノート）を活用しながら進行のし、班実習や演示実験、体験学習を通して思考を促す。身近にある自然現象や科学技術と関連付けて理解し、既知の内容を整理しながら知識や思考の定着を図る。毎回の授業に必ず発問を用意し、言語活動を通して化学で学んだ知識を活用する機会を与えながら、化学の楽しさに触れる。

備考	
----	--